



STOP! 介護崩壊 介護ウェブ 2009 推進ニュース

— 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう!

**「第1回09年改定—どうなった介護保険—説明会」開催 地域の方など20名が参加
参加者からの感想を拝見し、自分達の行動に確信と、自身をもらった集会となりました!(長野)**

介護ウェブが昨年より始まり、署名・宣伝行動等盛んに取り組んでいます。全日本・県連の「09年介護ウェブ方針」にも上げられている、「家族・当事者参加の運動」の第1歩となる「09改定—どうなった介護保険—説明会」が、先日8月8日(土)の午前中、あずみの里デイケア室にて、地域の方々・ご家族の方々に呼び掛け、行われました。

当日、参加者は約20名程度。全体司会は、現場で働く穂高章氏(介護士・ケアハウス主任)でした。塩原秀治氏(福祉会事務局長)の開会挨拶で幕を開け、武藤沢氏(あずみの里事務長)による、「09 介護報酬改定について」と題し、これまでの改定内容に触れながら、今回の改定がどれだけひどいものであり、相次いで、介護度が軽度判定され、介護を受けられなくなっている実態と、今回の加算報酬アップは利用者自己負担が増え、サービスを削り我慢を強いられているなど説明をしました。介護認定の内容に触れると、会場から驚きの声が上がりました。



続いて、介護職の手塚氏より「これまでの取り組みと実態」として、08年から始まった介護ウェブの取り組みと、09改定を受けて事例と限度額がどう影響するかについて報告がありました。

会場から「署名の影響力はどれだけのものがあるのか」「施設の種類、役割について教えて」などの声が上がりました。また、感想文には、『弱者に負担がかかることに疑問を持った。国に訴え続けて行く必要がある』『介護ウェブは興味深い』『国はもっと現場を見なければいけない』『新聞などで知っていたがこんなにひどいとは知らなかった』など感想が寄せられました。

開所当時は、何度かこの様な説明会が行われていましたが、いつの間にか遠のいていた説明会でしたが、今回、介護ウェブを通じ再開することができました。参加された9割の方から寄せられた今後の希望に『定期的にこの様な説明会を行ってほしい』と頂いており、一度に大勢を集める説明会ではなく、小規模ながらの意見交換を行いながらの企画を今後コンスタントに行えたらと、同時に感想を拝見し、自分達の行動に確信と、自信をもらった集会となりました。

(09年介護運動ニュース in 福祉会 No.5 8月発行より)

署名目標の達成に向けて各事業所で創意工夫の取り組みが進む！ 個人で参加したバス旅行に署名を持参。車内で署名のお願い！（埼玉）

久喜秩父市長も署名に協力 …生協ちちぶケアステーション

生協ちちぶケアステーションではすでに多くの事業所を訪問して署名への協力をお願いしています。先日も協力を依頼した福祉用具の業者さんが「市長からも協力していただいた」と意気揚々と事業所を訪れました。職員にしてみれば「先をこされた……」の思いもありますが、市長から協力いただいたことに確信を持ち、とりくみをさらに広げようと決意を新たにしています。また、新任の所長は地区内の支部運営委員会にあいさつ回り。着任の挨拶と併せ介護署名への協力の訴えもしています。

埼労連加盟の労働組合に協力依頼 …埼玉民医労

埼玉民医労では、書記長が7月の埼労連幹事会で署名の協力を訴え、その場で60筆の協力をいただいています。さらに、埼労連に加盟する労働組合にも直接訪問して、協力を訴えています。中でも埼玉県教職員組合は分会が1000にも上るため、署名用紙と返信用の封筒をセットでお届けしました。また、埼玉コープネット労組へも協力をお願いします。本部担当者に趣旨をお話しし、県内120事業所への配布のお願いをしています。昨年にはなかったとりくみです。私たちの介護ウェブのとりくみがさらに広がっています。これからの回収、署名の返信が待ち遠しいものとなっています。

一人ひとりの利用者にていねいにお話して …川口診療所デイ

川口診療所デイケアでは新署名の提起直後から、一人ひとりの利用者さん、ご家族に署名用紙をお渡しし、ていねいに訴えています。署名数は現在235筆と昨年と同じ時期を上回るハイペース。ていねいにお話ししている分さらに広がりをつくれそうな予感もします。

個人で参加した旅行のバスの車中で……C.C.さきたま・栗原さん 新所長の小堀さんはあいさつ回り先の事業所で……

C.C.さきたまのケアマネージャー栗原さんは、なんと個人的に参加したバス旅行に署名用紙を持参。移動の車中で介護署名への協力をお願いします。初対面の方ばかりのバスの車内で署名をお願いします。なかなか出来ないことです。すばらしい！！の一語に尽きます。

一方、新任の小堀所長は所長交代の挨拶に近隣事業所を訪問。新任の挨拶と併せ、介護事署名への協力をお願いします。昨年も協力いただいている事業所も多く、快く協力をいただきました。

2人のがんばりもあり、ケアセンターさきたまの現在の署名数は400筆を超え、昨年のペースを上回るものとなっています。

療養病床の七夕まつりでミニ学習会…秩父生協病院

秩父生協病院療養病床では、8月2日の日曜日に介護教室と七夕まつりを開催され、30名以上の参加がありました。歌やゲームなどでののお楽しみに併せ、介護福祉士の島田さんは独自の資料を作成して、報酬改定の不備、新しい認定システムの不備を厚労省が認め、改定されることなどを中心にミニ学習を行い署名への協力を訴えました。

当日は、25筆の協力にとどまるものでしたが、秩父生協病院ではこうしたさまざまな機会に署名への協力を訴えています。

（さいたま介護ウェブ2009推進ニュース No.7～8 2009.8.7 / 2009.8.14 より）

お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp